



進路だより

札幌市立宮の森中学校

令和7（2025）年度

第37号

1月16日（金）

進路係発行

保護者のみなさん、生徒のみなさん、共に読みください

公立願書の点検について

皆さんが書いた公立高校願書の、学年の先生方での点検が終わりました。WEB出願・申請ということで不安な部分もありましたが、皆さんのご協力で無事に出願できそうです。

今回中学校に提出された公立高校の願書は、20日（火）に一括受付があり、高校の先生方に手渡されます（石狩管外は郵送します）。そして、その出願状況を受けて、いよいよ26日（月）の10時に、出願状況（いわゆる倍率）の発表があります。その出願状況発表を受けて、27日（火）から2月2日（月）までが出願変更期間になります。「出願変更」とは、「公立高校の一般入試の出願先を一度だけ変更できる」というシステムです。

22日（木）に「出願変更」に関する説明があります。出願変更はパターンによってはとても複雑です。また、日程が厳しいです。よく担任の先生の説明を聞いて、内容をしっかりと理解してください。

さて、同じく22日（木）は私立高校一般入試の願書提出締切です。冬休み中にWEB出願の手続きを済ませた人も多いと思いますが、まだの人は間に合うように出願の手続きをお願いします。

※私立高校の出願校やコースが「出願手続き依頼書」から変更になる場合は、必ず中学校に連絡の上、手続き依頼書の記入内容の訂正をお願いします。

今週末と来週末には、多くの私立高校で単願等の入試が実施されます。入試のある人たちは、受験票や添付プリントに記載されている内容をよく確認して入試に臨んでください。もしも時間に遅れそうなど、当日急を要することがあれば、各自で直接高校に連絡をとって対応してください。

面接の時に

中 一夫

私立高校の入学試験が始まった頃のことです。試験をもう終えて余裕しゃくしゃくの人、これから本番の前にドキドキしてる人、試験の結果を気にして落ち着かない人…いろんな人がいる中で、一人の男の子が僕のところに相談に来ました。彼は最初の試験に失敗してしまったのです。それも面接で。ほんとに自信なさそうに、彼は僕に話します。

「あがつちゃって、自分の住所を間違っちゃったんです。それで<シマツタ！>って思って、あわてて言い直したら、また間違っちゃったんです。…落ちて当然ですね。」

彼の「俺って、なんて情けないんだろう」という声にならない言葉が聞こえてくるようでした。そして彼は僕にこう聞いたのです。

「先生、失敗するのやだったら、もっと面接の練習をしないとイケないのかな？」

彼はとても明るい子。素直な子。ただ、改まった面接なんかでは彼は自信がなくて、彼のステキな面がなかなか出なかったみたい。彼は面接にそなえて何回も練習していました。それを知っていた僕は、彼にこう言いました。

「あのね、どんなに練習してもミスはするんだよ。それは絶対。敬語をうまく使えなかったり、<母>って言わないで<お母さん>って言っちゃったり、住所を間違えたり…とにかくいろんな小さなミスなんかするの。面接の間に必ず一コはあつて、あとで<こういう風に答えればよかった>って、必ず後悔するんだよ。＜失敗しないように！＞ってガンバルとさ、悲惨だよ。だって、どんな質問にも答えられるように準備しないとイケないでしょ。＜あらゆる考えられる質問に対しての模範解答を用意して、それを覚えておく＞…そんなの無理だよ。それよりね、失敗は必ずするんだから、失敗したときのことを考えた方がいいと思うよ。それで僕が一番いいと思うのはね、失敗したり間違えたら、＜間違えました＞って言うことなの。＜間違えました＞って言って、言い直せばいいの。それですんじやうの。間違いや、失敗なんて。別に、相手は君のミスをチェックするために面接してるわけじゃないでしょ。＜この子はどんな子かな～？＞って、知りたいの。だからミスしたかどうかっていうのは、あんまり関係ないと思うよ。＜間違えました＞って正直に言ったり直したりする方が、ずっと印象いいと思うよ。」

彼は僕の言葉にちょっとだけ、微笑んでくれたようでした。

「その後の彼はどうなったか？」って？もちろんとびっきりのステキな笑顔で卒業していきましたよ。

中 一夫「たのしい進路指導」仮説社より

皆さんのステキな面が、面接で相手に伝わるといいですね。